

### 第3回阿波おどり未来へつなぐ実行委員会 議事録

日時：令和4年5月31日（火） 10時～11時50分

場所：シビックセンターさくらホール（徳島市元町1丁目24番地アミコビル4階）

出席者：委員25名（内オンライン参加5名）

#### 【開会】

#### 【報告事項】

（事務局説明）

○報告事項1、第2回実行委員会書面開催の議決結果について報告。

- ・令和4年5月19日付けで事業運営委員会の設置について書面にてご審議を依頼し、全員一致で承諾をいただいた。

○報告事項2、徳島県阿波踊り協会に対する実行委員会への参加要請について、

- ・4月8日の実行委員会設立総会でのご意見を踏まえ、4月18日と5月20日の2回にわたり、徳島県阿波踊り協会事務局を訪問した。
- ・4月18日訪問時には設立準備会議事務局として踊りを盛り上げていくために県協会の協力が必要であると依頼した。
- ・5月20日訪問時には副実行委員長2人と事務局で訪問し、新たに設置される事業運営委員会の設置趣旨をご説明し再度参画を要請した。
- ・しかしこれまでの回答と同様に、踊り団体が主催者として運営に関わるべきではないとのことで実行委員会および事業運営委員会には参画できないという回答だった。

（立川委員）

- ・県協会の参画について。実行委員会の委員としての参画が駄目なのか、オブザーバーのような決定権のない、意見を述べるような形も断られたのか教えてほしい。

（事務局）

- ・実行委員会の委員としての参画はお断りされた。

- ・第2回目の訪問時に事業運営委員会について説明したが、ご参加はいただけないという回答だった。

(寺内実行委員長)

- ・実行委員会の意見として県協会に対し事務局からできるだけの説明をしていただいたということです。

(事務局説明)

○報告事項3、にわか連の実施について。

- ・第1回実行委員会での事業計画書において、徹底した感染対策のもと踊り手の動線等に配慮した実施が困難であると判断し、2022阿波おどりではにわか連を実施しないとしていたが、第1回実行委員会にて委員の方から「にわか連で一般の方に踊りの体験を楽しんでいただき、盛り上げていくことが未来へ繋ぐ阿波おどりの発展に欠かせない一つの部分であると思う」「今の状況で実施しないとするは早々に決定しすぎではないか」との意見があったため、にわか連の実施については今後の感染状況などを注視しつつ、実施規模も含めて検討していく。

○報告事項、前夜祭の講演開催時間の変更について。

- ・第1回目の実行委員会以降の関係者との協議、検討の結果、会場の清掃消毒時間の確保や駐車場を含む周辺の交通対策を円滑に進めるために、公演同士の時間間隔を十分に確認する必要がある。よって5月26日に事業運営委員会を開催し、開催時間の一部の間を使用した時間設定に変更することとした。
- ・有料演舞場における車椅子用の観覧席の当日料金の記載が一部間違っていたので訂正する。

○報告事項5、踊り連の受付について。

- ・有料演舞場を2ヶ所とし、公演時間も従来の2時間から1時間としたことにより踊り込める連の数が例年の規模よりも少なくなる。
- ・踊り連の方々より感染症の影響により、踊りの練習の再開もまだ十分でないというお声もたくさんいただいている。

- ・ 演舞場のプログラムを作成するにあたり、まず有料演舞場2ヶ所と両国本町演舞場の計3ヶ所について、直近の県外連も含め踊り込みの実績がある連を中心に事務局の方で参加不参加の意向調査をしている状況。
- ・ 3ヶ所の参加連の一定の調整が整ったら、次に新町橋演舞場や踊り広場、さくらホールやアミコドームなどその他の会場含めて、7月以降一般連など広く踊り連の募集を行う方向で準備を進めていこうと考えている。

○報告事項6、団体チケットの先行受付開始について。

- ・ 6月1日よりぴあ株式会社において、藍場浜演舞場、南内町演舞場、選抜阿波踊り、前夜祭の各団体チケットの先行受付を実施する。
- ・ 各会場1公演ごとの最低と上限の申し込み数を設定する。
- ・ 6月1日から6月9日までの間で受付を行い、申込受付後確定結果をお知らせし、ご入金確認後観覧チケットを7月下旬頃に発送する予定。

○2022阿波おどりポスターの決定について。

- ・ モデルは天水連の相原優佳さん。
- ・ はなはるフェスタ2022にて撮影された写真。明るさや華やかさが溢れており阿波おどりを未来に繋ぐというイメージにぴったりのポスターとなっている。
- ・ 相原様からのコメント。  
「夏のポスターになることは目標だったので嬉しいです。コロナ渦での開催で大変かと思いますが、無事に阿波おどりが開催されることを願っています。」
- ・ 旅行会社をはじめ主要な観光施設や駅等へ順次発送しPRを進める予定。

(立川委員)

- ・ 踊り子として非常に厳しい人数の中で夏を迎えなければいけないのかなと感じている。昨年よりも人は確かに戻ってきているが、通常の約半分まで戻るかどうかというような現状。その中で栈敷を1連で流すにあたり、どれだけの連が参加できるのかわからないと栈敷はまとまっていけないと思う。  
また、現時点で県外からの参加や企業の参加があるのか教えて欲しい。

(事務局)

- ・直近の企業連については電話で連絡している。元々県外の連はなかなか来づらいということもあるが、前向きに検討していただける連も多少いるので粘り強く連絡し、ご参加の方を要請している。まとめ次第報告させていただく。

(山田委員)

- ・踊り手として全国に関係団体が数多くあり、今年の阿波おどりのことをいろんな形でお話する機会がある。
- ・徳島が今年のお盆を開催することが全国的にはまだ伝わっていないように感じる。
- ・阿波おどりの成功に向けてワンチームでやっていく必要がある。もう少し PR 的な部分をして欲しい。

(寺内実行委員長)

- ・最後の追い込み戦は皆様のご協力をお願いしたいと思うし、PR を大事にしていかなければならない。
- ・時間的に遅れていると感じる。

(事務局)

- ・実行委員会の公式ホームページが開設され、2022阿波おどりの最新の情報を随時発信しているが、全国に向けて発信していきたいので、委員の皆さんにも引き続きご協力をお願いしたい。

(岸田委員)

- ・当初はにわか連はやらない方向だったが、議論を経て踊る方向で模索する方がいいとなり、現状はやる方向で検討しているという認識で合っているか？

(事務局)

- ・合っている。

(岸田委員)

- ・ 議論がポジティブに変わっていくのはいいことだと思っているが、一方でにわか連をやる場合、感染対策や、着付け、にわか連の説明、受付の仕組みは必須になると思う。
- ・ 何か具体的に現状で案があれば聞きたい。

(事務局)

- ・ 現状では今年の夏のにわか連の具体的なやり方は検討中。
- ・ 感染症の状況などを見て、従来なら2ヶ所のにわか連だったのをどうしていくかなどもいろいろ考えていくが、現状では開催はしないという判断ではなくて、やっていける方法を検討しているところ。

(岸田委員)

- ・ コロナ前の阿波おどりにおいてゴミのボランティアや、たくさんのボランティアを回していく仕組みなどにチャレンジしてきた部分があるので、そういったところで何か提案ができたらいいなと思っている。

(西岡委員)

- ・ 阿波おどりが変わり目ということで、新しい時代に繋げていかなければいけない、生まれ変わるという意識でいる。
- ・ 車椅子席の設置に関して、車椅子で来ようとするシャトルバスに乗れないため近くの駐車場の確保などが必要なのでは。
- ・ トイレが一番の問題だと思っている。踊り子や障害がある方だけでなく、家族連れの小さな子供を連れてベビーカーを押している方もいる。介護されてご家族で来られる方もいると思うので、今ある公衆トイレでは足りないと思う。
- ・ 仮設トイレ、多目的トイレというものをどのように考えているか。
- ・ ホームページのWeb アクセシビリティについてどのように検討しているか。
- ・ 優しい観光のバリアフリーに配慮したところは何かあるか。

(事務局)

- ・ 桟敷の車椅子席について、ここ最近車椅子をご利用の方の観覧のご希望が増えていることは聞いているため、車椅子で桟敷に入りやすい、観覧しやすい状況を整えていこうと考えている。
- ・ シャトルバスについて、ご意見をもとに改善できる部分があるかどうかを検討していく。
- ・ 近くの駐車場について、ご意見を踏まえて車椅子でもご利用しやすい駐車場を検討していく。
- ・ 公衆トイレについて、阿波おどりの期間中は仮設トイレも周辺に配置している。最近では仮設トイレでも感染症の観点からも多目的なトイレや、洋式便器のトイレなどの設置もだんだん進んできているが、どのような場所にどのような形のトイレを設置するかを検討していく。
- ・ ホームページのアクセシビリティについて、いただいたご意見も踏まえていろんな方が見やすいホームページの表現方法などを充実させていこうと考えている。

(京野委員)

- ・ 開催が縮小しているため例年と比べて踊り込む連が少なくなるとのことだが、従来が大体どのぐらいあって今年は何のぐらいの数に減るのが分かれば教えて欲しい。
- ・ 阿波おどりのポスターがどのぐらい作られて、どこに配布されているのか教えて欲しい。

(事務局)

- ・ 有料演舞場は従来4つだったが2つの演舞場となった。また、公演時間についても間の休憩入れ替え時間で清掃消毒をするため短くなるので、20～25連だったものが15～20連に減る。
- ・ ポスターの製作の枚数については B 1が4000枚。 B 3が3000枚を予定している。配布先は JR の駅や道の駅。  
ホテルや旅行代理店、市内の商店街や、ご協力いただけたところがあればショッピングモールなどにもお声掛けしていきたい。  
その他ご希望があれば柔軟に対応していきたい。

(京野委員)

- ・受付されてもなかなか踊れないところが多ければいろいろ対策しなければならないと感じた。
- ・阿波おどりのポスターもせっかくだったら高円寺など東京の方や全国で阿波おどりが認知されているところにも送っていただき、いろんなところで阿波おどりの周知をしていただけたらなと思う。

(寺内実行委員長)

- ・コロナの中でプロの方同士でも稽古ができていないので人数が少ないというご意見を聞く。たくさんの人数を抱えているところでもそのような状況が出てきているのか。

(山田委員)

- ・先ほど立川委員さんのご発言の中にあつたように、半分ぐらいに戻るのかなという実感。
- ・マスクの着用が緩和されてきて、いろんなところでの会社の制約も少し緩み、やっと参加できるようになったという連員が増えつつある。  
この状態があと1ヶ月以上続けば、もう少し増えてくるのではという希望的観測はある。一方で各連、連員さんの確保非常に難しくなっている。
- ・街角踊りのような、十分踊れるスペースなどもこの実行委員会の中で示すことができれば有料棧敷だけでなく、全体的ににぎわいのある徳島市の阿波おどりになるのではと思う。

(中島委員)

- ・コロナ禍前は全国で阿波おどりを楽しみにしておられる方が多かった。今年どれぐらいPRがあるのかは気になっている。
- ・自身が大阪・関西万博2025年に関わっており、その中で命を高めるテーマのところ、なるべくその場所を開き、日本に限らず世界中のいろんな伝統音楽や、舞踊などお祭りのようなものが出会い新しいものが、かけ算で生み出されるような場を準備したいと考えている。

- ・ぜひ私達のクラゲ館で阿波おどりの皆さんに、いろんな形で阿波おどりを通じて世界と出会うみたいなことがクラゲ館でも行っていただければ非常にありがたい。
- ・3年後のこともぜひいろいろ考えていただき、それがさらにその先の未来に繋がっていくような流れを皆様と議論させていただきたい。
- ・今日第1回目のオブザーブでいろいろ聞かせていただいたが、今後の議論にも繋げていけたらと思っている。

(立川委員)

- ・これから PR していくにあたり、1つだけ報道の皆さんにもお願いしたいことがある。
- ・皆が考えてくれていることが一般の方に対してあまり広まっていないと思う。阿波おどり復活にむけ、踊り子たちを盛り上げていっていただけるような体制がようやくできつつあるのかなと踊り子からでも感じているが、踊る人間が悪になることが一番いけないことだと思う。
- ・阿波おどりは踊り子、お囃子があってようやくお祭りが成り立ってくるので、踊り子たちが頑張っている姿を報道の皆さんもバックアップしていただけるような形で出して欲しい。
- ・振興協会でもガイドラインを策定しており、関東で定めるガイドライン以上に非常に厳しい状態で練習をしている。その点もあわせて一緒に PR していただけたらより良い阿波おどりに繋がっていくと思う。

(徳島商業高校 大久保様)

- ・高校生としてPRできないかという活動している。
- ・インターハイの開会式がアスティ徳島で7月28日に開催予定。そこで徳商、鳴門の阿波おどり部の方で PR をしたいと考えている。
- ・全国の総文祭に阿波おどり部が出演予定。8月1日から4日の間に徳島市の阿波おどりの起爆剤になるようPRしていこうと思う。
- ・今年から鳴門高校、城西、徳島商業の方で育成型選抜というのが始まる。阿波おどりとしての昔でいう推薦入試が今年から始まる。



- ・高校でも活性化していき、踊り子をどんどん増やしていけたら未来に繋がっていくと思う。また、小学校では出前授業もやっていると聞いているので、そういった若手を育成できたらと思う。
- ・うちの連も51名いるのでどこかの連にお邪魔して、夏に向けていろいろ練習できたらいいかなと思う。

(福本委員)

- ・実際に踊ったことはないが毎年阿波おどりを楽しみにしている。
- ・今回求められているのは学生の立場からどのような意見を出せるかだと思う。
- ・皆さんがどのような未来を考えているのか共有させてほしい。
- ・目的が決まらなるとそこに至る方法も分からないので、今年の阿波おどりをどのようにしていきたいのか具体的に教えて欲しい。

(事務局)

- ・第1回目の実行委員会また、設立総会の中でも方針は確認していた。
- ・阿波おどりをどのように未来に繋いでいくかは実行委員会の中でまた議論して頂くことになると思うが、この実行委員会の趣旨としては徳島の宝である阿波おどりを多く市民の方が主体の阿波おどりとして運営していくことが一番の大きな目標。
- ・今回の実行委員会に若い学生の方や市民団体の方々に参加いただいているため、そういった若い方の意見を今後の阿波おどりの運営に生かしていきたい。

(中村委員)

- ・例年であればぞめきが響いているはずだが、今年は踊っている姿をほとんど見えない。
- ・未来へつないでいくのだから、事務局任せではなく寺内実行委員長と内藤市長が県協会へ話をしに行った方がいいのでは。
- ・新町川水上ステージの提案。7月中頃から踊り、阿波おどりのムードを盛り上げていくのはどうか。

(事務局)

- ・河川管理者との協議、資金面等々があるため今日すぐの返事は難しい。ご意見として承る。

(立川委員)

- ・中村委員のぞめきが全く聞こえてないという話について、藍場浜周辺は例年6月から鳴り物が鳴り始めるため、6月になったら聞こえだすと思う。

### 【議事】

#### (1) 第1号議案

(事務局)

- ・昨年夏に徳島市主催で開催した2021阿波おどりニューノーマルモデルを参考に、また東委員さんにも新たな意見や知見をお伺いし、今年夏の2022阿波おどりにおける新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの基本方針をとりまとめた。
- ・基本方針に基づき、開催予定の実行委員会において6月末までにマニュアルの策定を目標としている。
- ・基本方針を4つにまとめた。
- ・会場内でのマスクの着用を推奨として、屋内会場については周りの人と2 m 以上を目安とする身体的な距離が確保できない場合、屋内会場において周りの人と身体的な距離が確保できるが会話を行う場合、周りの人と身体的な距離が確保できず会話を行う場合とする。
- ・踊り手の方のマスク着用については熱中症などのリスクが当然高まるため演舞中のマスクの着用については必ずしも必要とはしない。
- ・手洗い消毒、換気については、入場場所の会場各所において、手指消毒のための消毒液を配置し感染拡大防止の徹底を図る。
- ・身体的な距離の確保については、各公演会場においてソーシャルディスタンスを保つなど感染症対策を注意喚起するアナウンスや看板などを設置する。また、警備やスタッフの増員と配置を十分にし、雑踏対策を講じていく。
- ・体調管理については、事業者単位、踊り連単位での体調管理を行う予定。
- ・開催の2日前から開催後10日間を体調管理期間とする。
- ・踊り手については、練習時における検温管理の期間についても含める。

- ・熱中症予防のための水分補給以外の飲酒飲食禁止。また、新型コロナウイルスのワクチン接種の推奨。感染症対策に対する情報発信、感染疑いや発生時における情報連携の体制整備の構築など基本方針として掲げている。

(東委員)

- ・検温等に関して、非接触の検温計があると思うが、夏場は体温が上がったり下がったりと正確性に欠けるため、連員の方もこれまで通り必ず自宅での検温をしっかりとやって欲しい。
- ・4波のときは自宅待機が2000人を超え、ワクチンを打っていない方や基礎疾患の多い方、まだ30歳の方も人工呼吸になっていたため、第7波への警戒が必要。
- ・普段から対策に気を付けていると思うが、徳島の方がしっかりやっていたルールを県外の方にしっかり守っていただけるかは気になる。

(寺内実行委員長)

- ・東委員の意見をもとに早急にマニュアル策定し、皆さんに安心して阿波おどりに参加していただける体制を構築していきたい。
- ・議事1について承認いただけるか。

(一同了承)

(2) 第2号議案

(事務局)

○会場エリアの露店についての説明。

- ・(資料6ページ) 赤の点線エリアは車両通行制限区域を設定する。
- ・露店の出店について。会場エリア内の道路外における公園等において、例年通りの露店の設置を検討している。
- ・ただし、藍場浜演舞場の入り口付近にある藍場浜公園の東側付近等の、来場者や踊り連の密集状態が想定される一部の箇所については露店を設置しない方向で検討を進めている。

(立川委員)

- ・新町のボードウォーク等に出店はされるのか。また、踊り子の動線等はどのように考えているか。

(事務局)

- ・新町川のボードウォークでの露店の出店について、従来は出店していたが現在のところは未定。その他の従来出店されていた水際公園、藍場浜演舞場、両国の辺りのエリアは現在出店する予定で進めている。
- ・踊り手の動線について、順路などはまだはっきりとしたものはないが、会場エリアの中の交通規制エリアを通行していただく予定。

(岸田委員)

- ・露店について。これまで通りとはコロナ前の中心市街地でやっていたときのイメージを指していると思うが、水際公園内などに露店が出ていた際、結構なごみが出ていた印象がある。その辺りの対策がどうなっているのか教えて欲しい。

(事務局)

- ・露店の出店者の方で、一定のゴミの回収の箱を設けていただくよう、現在協議中。しかしその場で食べずに離れたところで食べたりしてゴミが出てくるところもあるので演舞場周辺にもゴミ箱は設置し、随時収集や袋の入れ替えなどを進めていく。

(岸田委員)

- ・そもそもコロナ前からごみ袋は置いていた。  
ただ、ごみ箱が爆発状態になっていたり、自動販売機の横のごみ箱に食べ物のゴミが入れているなどが例年の姿だった。未来へつなぐのが実行委員会の趣旨であればボランティアのシステムやごみ収集車のシステムなどを再定義してもいいと思う。そのあたりで力になれる部分があればと思うので、また色々と議論していきたい。

(越後委員)

- ・露店の出し方について、従来通り店舗に飛散防止シートや注意書きを設置するの  
か。

(事務局)

- ・露店の出店については現在協議を進めている組合があり、そちらの共同統一的な取  
り扱いとして、感染症対策を十分に講じての出店を徹底していくと聞いている。対  
面時のスクリーンのようなものや手指消毒の消毒液の設置などもそれぞれ出店者の  
方でご用意いただくと聞いている。

(山田委員)

- ・多種多様な立場からご意見をいただき、取り組んでいく、この実行委員会の意義と  
いうものを改めて今実感している。
- ・私や立川委員は踊り子の立場でいろんな形の意見は言うことは可能だが、ゴミの問  
題含め今の露店の問題の中で、岸田さんの意見については僕らではなかなか考えつ  
かない部分が数多くある。
- ・まちづくり協働プラザからボランティアやごみ収集の具体的なやり方についてご指  
導やご助言をいただいてもいいのでは。

(寺内実行委員長)

- ・事務局の方で各項目によって、いろいろと検討していくのが一番かと思う。そのよ  
うにして進めていきたい。
- ・第2号議案について承認いただけるか。

(一同了承)

(寺内実行委員長)

- ・賛成多数のため検討事項以外については原案通り進めていく。
- ・様々なご意見をいただき、まだまだ検討することがたくさんあると痛感した。

(立川委員)

- ・第2回のときに設置された事業運営委員会をフルに活用し、スピード感を持ってやっていけば次の実行委員会のときにはいろんなものが解決した状態で皆さんに提案できる。
- ・1回1回こういう形で集まるのは非常に時間と労力がかかるため、しっかりと事業運営委員会を活用していただきたい。

(山田委員)

- ・東先生ににわか連についてお伺いしたい。
- ・通常であれば希望の方を集め、若干の踊りの指導をしたのち栈敷に何百人～千人ぐらい連れて踊っていた。
- ・あまりプロフェッショナル的な激しい踊りはなく、ほとんど歩きに近いような形の中で踊る。
- ・事務局としては感染対策のマニュアルを作っていかなければと思うが、やはりマスク着用の方がいいのか。

(東委員)

- ・にわか連だと見知らぬ人と2mのディスタンスをとるのが難しいイメージがある。
- ・規模を縮小し、チームを増やすなどそういった対策が必要。
- ・にわか連で急遽県外の人が踊りたいとなった際に、徳島県の人が行っている対策を落とし込める規模にし、人員も万全であればできるかと思う。

(山田委員)

- ・通常だときゅうぎゅう詰めで行うため2mのディスタンスは不可能。
- ・手を挙げて歩いていく形がほとんどだが、今年は例えば1mぐらいの間隔を空けてくださいねと間隔を取らせる指導をし、基本的にはマスク着用の方針でマニュアルを作ってもいいと思う。その辺りも含めて考えていく。
- ・5月に行われた徳島新聞社主催の紡ぐというイベントで、主催者発表で県外客を含めて千人単位がそういう形で踊られている。
- ・野外で踊られたことを鑑みると、事務局として前向きな形で取り組めるのでは。1度検討してもいいと思う。

(佐々木委員)

- ・ポスターが春らしくていいが夏はもっとにぎやかなイメージが欲しい。

(事務局)

- ・PR について、ポスター以外にも公式ホームページにたくさんの阿波おどりに関する、もっと賑やかな踊りの風景の写真などもたくさん織り交ぜて公開している。
- ・徳島市の取り組みとして、公式プロモーションビデオなども今年の4月から運用を開始しており、全国的に YouTube 動画などで拡散している。
- ・いろんなチャンネルで広報、PR を進めている。皆さんに見ていただき、皆さんからさらにその先に広めていっていただければと期待している。

(寺内実行委員長)

- ・今年阿波おどりが開催されるのか分からず不安になっている方が多い。  
踊り込む連にも十分に参加していただけたらと思うので、これから早急に PR していきたい。
- ・意見を十分精査し、解決に向けて早急に前向きにやっていきたい。

【閉会】